



成沢っ子

令和6年10月3日 第6号



教育目標 夢の実現に向けて 生き生きと学び、高め合う成沢っ子の育成

目もかれず 見つつ暮らさむ 白菊の
花よりのちの 花しなれば

伊勢 大輔「後拾遺和歌集」



校長 熊谷 智仁

冬が間近になると白菊より後に見る花はなくなるのだから、目を離さないで見続けながら暮らしていこう。つまり、秋が終わると冬が来る。秋の花である白菊は冬が近づけば枯れ、見ることはできなくなる。今の自然の美しさを感じるとともに、今ある状況を大切にしようとする思い、一瞬たりとも逃さないでしようとする作者の感情が表現されている歌です。

朝晩は過ごしやすくなり、めっきり秋の気配を感じる季節となりました。この季節になると花々は少しさみしくなりますが、虫たちは元気になり、様々な声が聞こえてきます。そんな中、成沢小の子ども達は、もっぱら校庭の草原を飛び回るバツタ取りに精を出しています。日に日に虫かごを持って登校する児童が増えていくばかりです。この秋の一瞬を心に刻み、今を大切に過ごし満足してほしいなあと思い選んだ一首です。

2学期になり、各学年ともに、毎日の授業の中で友達と学び合う姿が充実してきたなと感じる事が多くなりました。また、友達との関わり方がソフトになり、相手の立場に立った言動もよく見聞きするようになりました。校外で学習する機会が多くあることで社会性が身に付いてきたのではないかと思います。また、夏休みを通じて各人が、自分に自信がもてるようになったのかなと思うと同時に、子ども達の周りにはいる大人の方々の関わり方により自己有用感や存在感が向上したのではないかと感謝しております。

読書や運動、勉強と何事にも取り組みやすいこの季節に、今の一瞬を思う存分過ごすとともに、3月の自分、1年後の自分、中学生になった自分などなど将来を想像する事も大切ですし、想像の仕方を学ぶことも大切です。秋の夜長、ご家庭でお子さまとの会話を楽しんでみてください。お子さまの新たな一面に出会うかもしれません。

保護者の皆様、地域の皆様、今後とも本校教育活動にご理解とご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

多賀中学校の生徒が職場体験を行いました

9月18日(水)と19日(木)に、多賀中学校の生徒4名が来校し、職場体験を行いました。児童と遊んだり、教員の補助として活動したりしました。

多賀中学校の生徒さん、お疲れ様でした。



教育実習生が来校しました

9月2日（月）から9月27日（金）・10月2日（水）まで、2名の教育実習生が来校しました。子ども達と遊んだり、授業実習を行ったりして充実した日々を過ごすことができました。



あいさつ運動をしました

6年生の児童が「元気にあいさつをしよう」という目標を立て、あいさつ運動を行いました。元気にあいさつができた児童は、5・6年生が描いた可愛いイラスト入りあいさつカードがもらえます。友達に、先生に、学校に、みんな元気にあいさつができました。これからも、続けていきましょう。

11月には、5年生があいさつ運動を行う予定です。



シビックセンターで星空学習を行いました

9月26日（木）に、4年生がシビックセンターで星空学習を行いました。プラネタリウムでは、星座や天体の動きについて学習しました。午後は、エコクリーンかみねでゴミ処理の仕組みについて理解を深めました。

